

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Bev+CDDP+GEM
診療科名	呼吸器内科
診療科責任者名	金子 教宏
適応がん種	扁平上皮がんを除く 局所進行もしくは転移性NSCLC 脳転移症例には禁忌
保険適応外の使用	有 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	NSCLC-34
登録日・更新日	2010年1月28日
削除日	
出典	JCO2009;27:1227
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート					投与時間	施行日
No.1	アバスタチン点滴静注用	100mg,400mg	15mg/kg	IV	DIV	IVHポート	側管	その他( )	90分	Day1
	生理食塩液	100mL								
No.2	シスプラチン	10mg,50mg	70-80mg/m <sup>2</sup>	IV	DIV	IVHポート	側管	その他( )	2時間	Day1
	生理食塩液	500mL								
No.3	ジェムザール	200mg,1g	1000-1250mg/m <sup>2</sup>	IV	DIV	IVHポート	側管	その他( )	30分	Day1、8
	生理食塩液	100mL								

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	短縮可能( )日・短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

記入者	安室 修
確認者	三沢 昌史

減量・中止基準	シスプラチン BUN 25mg/dL、クレアチニン 1.5mg/dLのとき投与不可  ジェムザール WBC<2,000/mm <sup>3</sup> またはPlt<7万/mm <sup>3</sup> のとき投与延期
前投薬	グラニセトロン3mg デキサメタゾン
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 咯血の既往のある患者に禁忌 脳転移を有する患者には原則禁忌</li> <li>・ 根治的放射線照射ができない場合(Stage Bの癌性胸水・癌性心嚢水貯留例、Stage など)に適応する</li> <li>・ 1st line PS 0~1かつ年齢70歳未満(年齢70歳以上75歳未満かつPS 0~1の患者は主治医の判断に拠る PS2の患者には基本的に不可)</li> <li>・ 癌性胸水・癌性心嚢水を認める例においては、全身化学療法前に局所療法(ドレナージ後に胸膜癒着術・心膜癒着術)を可能な限り施行する</li> <li>・ シスプラチン投与前後にそれぞれ1,000~2,000mLの適当な輸液を4時間以上かけて投与する</li> <li>・ アバスタチン点滴静注用の点滴時間:初回90分、2回目以降は忍容性に依りて60分、30分に短縮可能</li> </ul>